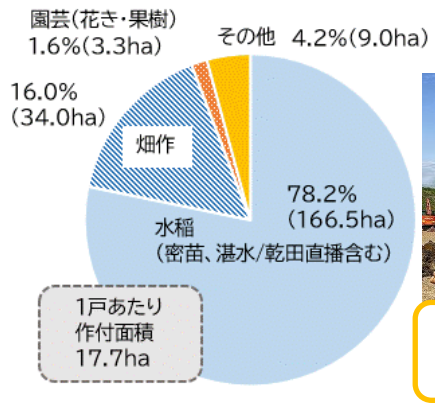
課題番号29

水稲を基幹とした持続可能な複合経営の確立

～　基盤の強化で夢もてる農業の実現を！！　～

対象：深川市納内・東豊地域（12戸）

１　活動の背景



担い手の減少
高齢化

基盤整備による大区画化
高まる省力化需要

担い手の
学習意欲の高まり

複合品目の
生産安定化が
重要に

基盤整備後の営農を想定した省力化技術の導入・定着
複合品目の収益性向上(花き・畑作物)

２　活動の経過

乾田直播栽培指導

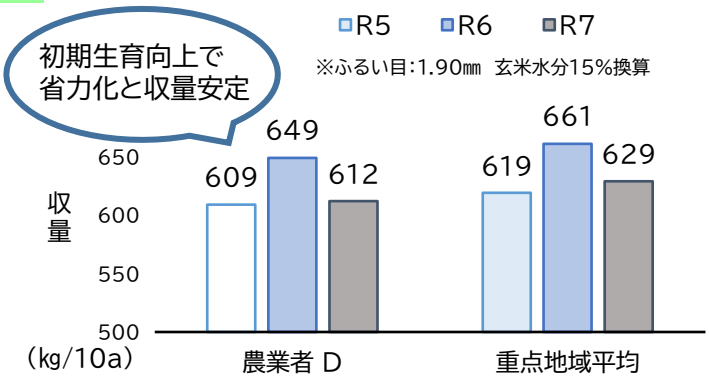
省力品種の栽培指導

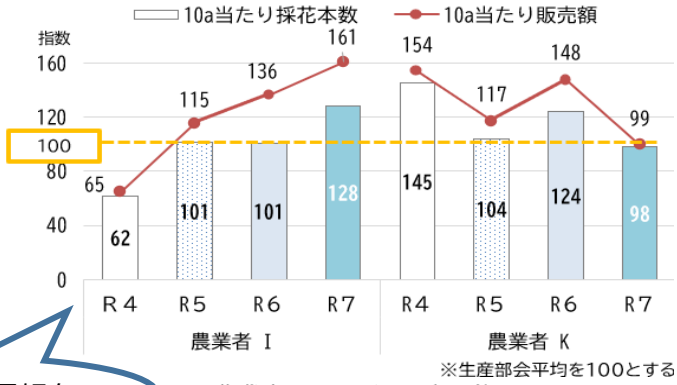
秋まき小麦栽培指導

・水稲の自己課題を設定 ▶ 実践・実証による課題解決(R3～4)
・水稲の省力化技術の定着と複合品目(花き・畑作物)の安定化(R5～)

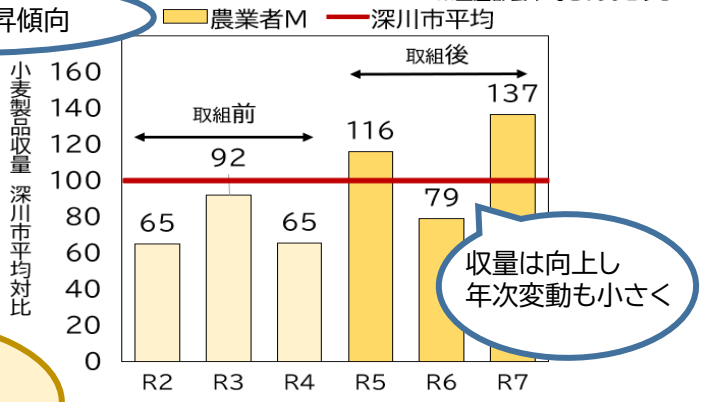
３　成果の具体的内容

密苗®育苗指導

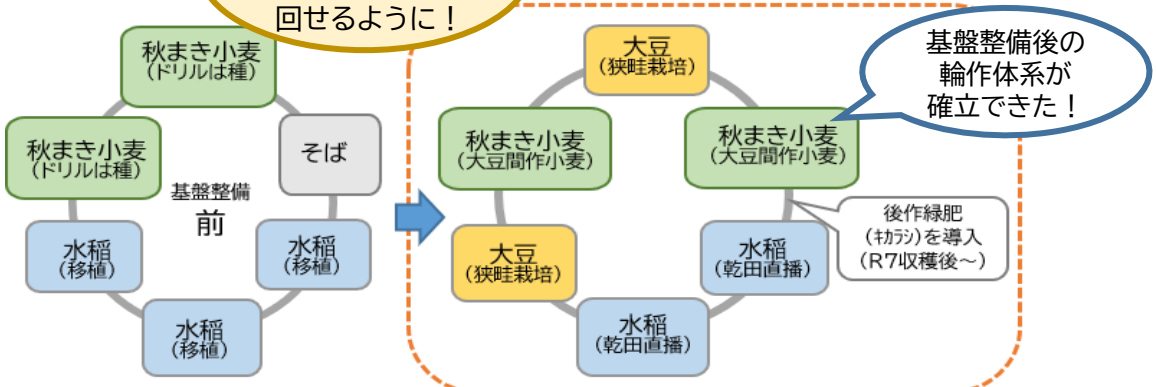




販売額は上昇傾向



作型切り替えで
省力化が進み
営農が一人でも
回せるように！



普及活動のロードマップ

開始時対象	推進事項	R3	R4	R5	R6	R7
全戸 (14戸)	地域の 農産物生産性及び 収益性の向上	課題自己設定	課題解決 (実践・実証)	湛水/乾田直播・密苗栽培技術の習得・実践 **基盤整備後に導入する 省力化技術の習得と実践**		農業所得の 維持 (R2を100) 338
地域後継 農業者 (全戸の うち9戸)	地域を担う 農業者の スキルアップ	基盤整備後に向けた 経営意識の醸成 (省力化・作付品目の 経済性などの検討) 自己課題設定 (水稲・経営など)	課題解決 (実践・実証)	花き類の品質向上 **複合品目の所得確保を目標にした 花き・畑作物栽培技術の定着** 畑作物の収量安定化	ひまわりの品質向上	

農業所得(1戸平均)の維持　100(R2) → 338(R7、R2対比)

4　今後の課題と対応

重点地域で得られた結果を地域外へ波及、定着させていく